Press Release
スパイアR&C広報事務局
TEL: 03-6427-1627
担当：アレックス・村上

spire RESEARCH & CONSULTING
The Knowledge to Decide
調査情報提供

新興国に特化したマーケティングリサーチ企業　「スパイア・リサーチ・アンド・コンサルティング」

インド・中国・マレーシアにおける女性管理職の実態調査レポートを発表

ASEAN、アフリカ、中東、中南米など新興国市場リサーチに特化したSpire Research & Consulting (本社：シンガポール　CEO：レオン・ペレラ)は、インド、中国そしてマレーシアの3カ国の女性経営者および管理職について調査レポートをまとめましたので発表致します。

※スパイア・リサーチ・アンド・コンサルティングとは？

スパイア・リサーチ・アンド・コンサルティングは、戦略的マーケティングリサーチとコンサルティングを行うリーディングカンパニーです。新興市場（アジア環太平洋、中南米、中東、アフリカ、ロシア、CIS諸国など）に特化し、世界のトップ企業・政府機関向けに、高品質かつ戦略的なリサーチをカスタマイズして提供します。**※代表プロフィールは最終ページをご確認ください。**

【調査背景】

昨今、日本では女性経営者や管理職の登用など「女性の社会的地位」「働き方」が注目を浴びていますが、アジアの新興国においても同様に女性管理職の数は増加傾向にあり、女性の社会進出や働き方に注目が集まっています。

しかし、先進国と同様、もしくはそれ以上にその国ならではの課題や問題を抱えており女性たちがキャリアアップやワークライフバランスについてストレスを抱えていることが多くあります。そこでインド、中国、マレーシアの女性300人の経営者および管理職を対象に働く上でのストレスや悩み、課題について調査を行いました。

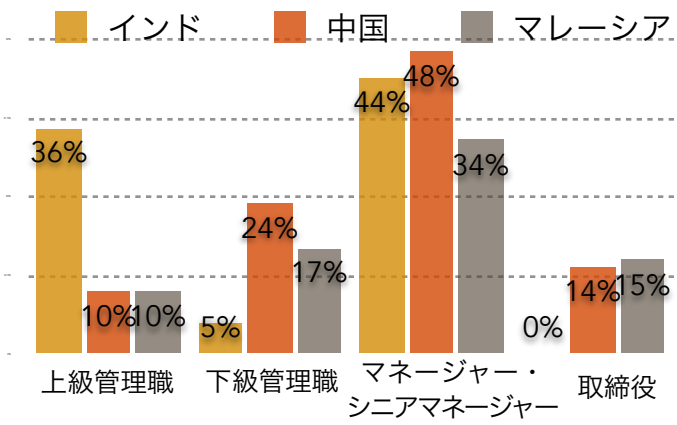
【調査概要】

調査対象：インド、中国、マレーシアの３カ国の企業で働く女性経営者および管理職の方

調査人数：各国１００人　合計３００人

調査方法：アンケート調査・回収による調査

調査対象者プロフィール



報道関係者からのお問い合わせ　スパイアリサーチ＆コンサルティング広報事務局
TEL:03-6427-1627　担当：アレックス・村上　E-mail:info@kartz.co.jp

Press Release
スパイアR&C広報事務局
TEL: 03-6427-1627
担当：アレックス・村上

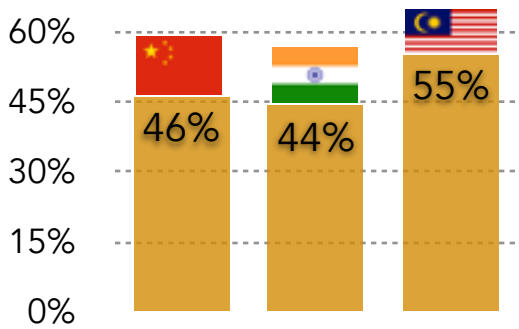
spire RESEARCH & CONSULTING
The Knowledge to Decide
調査情報提供

【女性管理職のキャリアアップの障壁】

調査結果から、女性管理職が考えるキャリアアップの障壁は大きく分けて以下3点であることがわかりました。

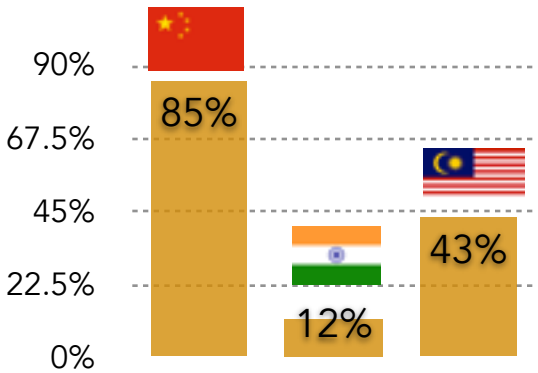
【①勤務体制の多様性の欠如】

業務体制についてフレックスタイムや在宅勤務など働きの多様性が必要であると応えた女性たちはインド 44%、マレーシア 55%、中国 46%と半数近くとなりました。



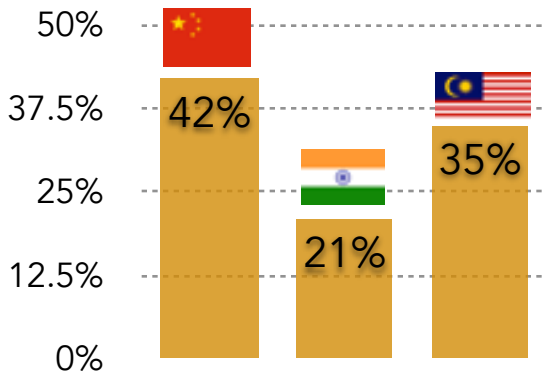
【②ワークライフバランスの不均衡さ】

各国の「ワークライフバランス」について質問したところ、「ワークライフバランスがとれていない」と応えたのは中国 85%と最も高く、マレーシアは43%、最も低かったのはインドで12%という結果になりました。



【③男女差別問題】

職場における男女差別問題は中国が顕著に結果として出ました。出世や昇進などキャリアアップへの男女差別を意識しているのは中国：42%、インド：21%、マレーシア：35%という結果となりました。



以上のことから、３国共通で女性のキャリアアップには勤務体制の多様性が求められていることが分かります。フレックスタイムや在宅勤務など家庭と両立しやすい勤務体制により、ライフワークバランスがとりやすくなりそれがキャリアアップにつながると考える女性管理職が多いことが明らかになりました。
またインドでは、男子校の卒業生で構成される「オールド・ボーイ・ネットワークの存在」で情報が女性を含めた外部に共有されないことが問題であるという人が38%いました。

Press Release
スパイアR&C広報事務局
TEL: 03-6427-1627
担当：アレックス・村上

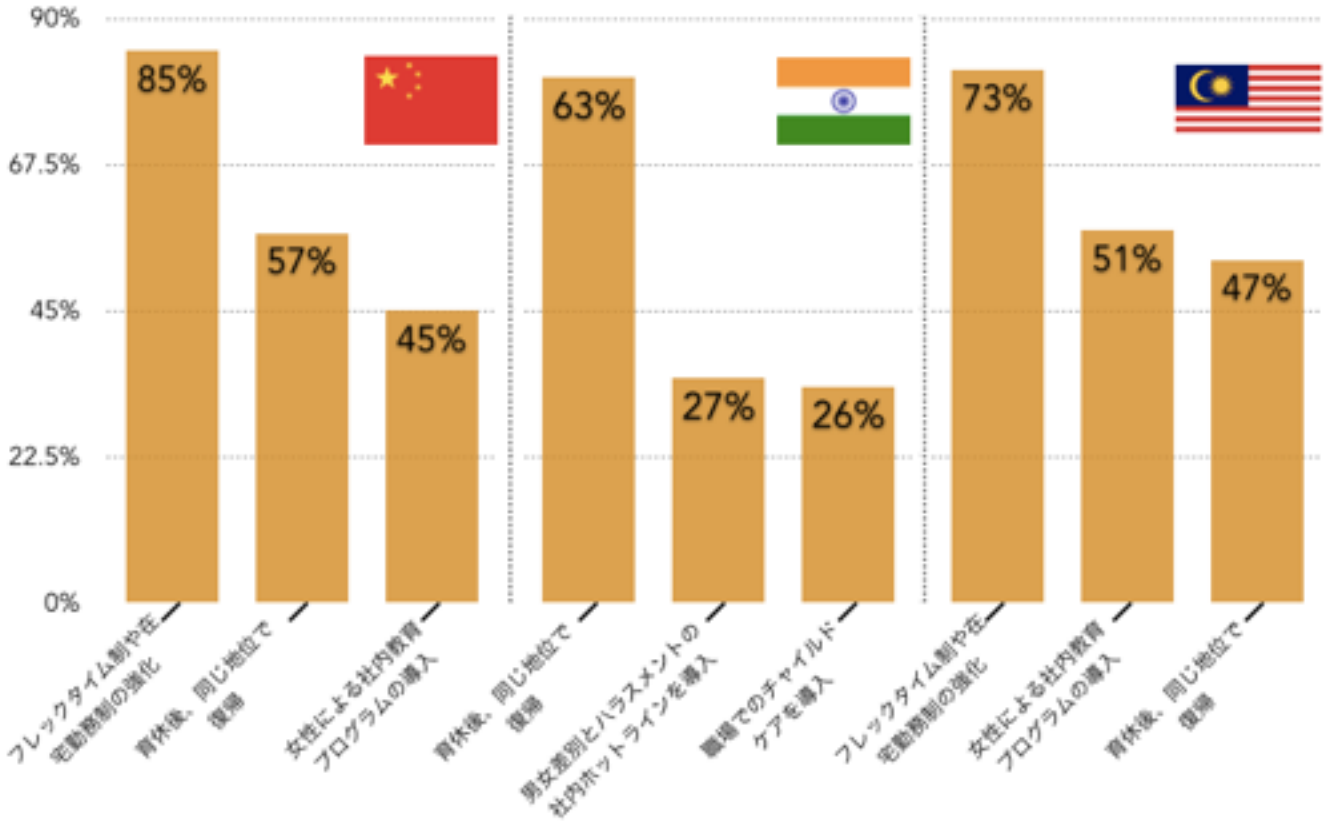
spire RESEARCH & CONSULTING
The Knowledge to Decide
調査情報提供

【女性が語るキャリアアップ志向と仕事環境の改善案について】

また、管理職についている女性のロールモデル（模範となる女性）について伺ったところ、インドでは51％、中国では23％もの女性たちは「ロールモデルがいない」と答えました。
今までの世代には女性管理職が周りにいなかったことが分かります。
ロールモデルがいると答えた女性たちは女性ジャーナリストやすでに活躍している女性CEO、またマレーシアでは「母や姉」など身近にいる人を挙げたことが特徴的でした。

【今の現状の改善案について】

各国の女性たちは現状の仕事環境をどのように改善したいのでしょうか？その具体案を挙げてもらいました。大きな共通点としては、女性が出産・育休後に同じ地位に復帰することを求めていることがわかりました。（中国 57%、インド 63%、マレーシア 47%）



また、インド人女性に関しては「男女差別とハラスメント社内ホットラインの設立」を２６％が求めており、実際に差別にあっている女性が多くいることを示唆しています。

今回の調査から、アジアの女性のキャリアアップには、ワークライフバランスがとりやすい勤務体制の柔軟さが必須であること、また出産などのライフイベントを経てもポジションが確保できることが望まれていることが浮き彫りになりました。

Press Release
スパイアR&C広報事務局
TEL: 03-6427-1627
担当：アレックス・村上

The Knowledge to Decide

調査情報提供

【CEO レオン・ペレラ プロフィール】

スパイア・グループの代表（CEO）として、新興市場リサーチとコンサルティングをはじめ、ビジネスプランニングのための経済分析、マクロ環境分析に豊富な実績を持つ。

【経歴】

オックスフォード大学で哲学と政治経済のダブル最高優等学位を取得。最終学年には同大学より政治学分野でギブス賞を受賞
シンガポール経済開発庁（EDB）国際ビジネス開発局の上級職員としてキャリアをスタートし、アジア太平洋地域における海外投資をシンガポールに誘致するための政策プランニングを担当。その後、エンタープライズ開発局の局長補として、大手企業の成長を支援する政策に携わった。
アジア・マーケット・インテリジェンス・ビジネスコンサルティング社に転職後、同社のシンガポールオフィスを立ち上げ、企画と顧客対応の両面で中心的な役割を果たす。

その後、スパイア・リサーチ・アンド・コンサルティング・グループをエリザベス・コーと共同で創設、代表に就任。アジア太平洋地域で50を超えるフォーチュン500クラスのグローバル大手企業を顧客として獲得し、その多くから複数回にわたってプロジェクトを受注する原動力となった。顧客に合わせてカスタマイズされたリサーチやコンサルティングのプロジェクトは、これまでに1,000件以上を数える。

【会社概要】

社名：Spire Research & Consulting
（スパイア ・リサーチ・アンド・コンサルティング）
本社：シンガポール
代表（CEO）：レオン・ペレラ

事業内容：新興市場のマーケティングリサーチ・カスタマイズリサーチ・
市場コンサルティング、経営コンサルティング

支社：シンガポール、インド、インドネシア、中国（北京、上海、香港）、ベトナム、マレーシア、韓国
営業拠点：オーストラリア、日本、米国

報道関係者からのお問い合わせ
TEL:03-6427-1627
スパイアリサーチ＆コンサルティング広報事務局
担当：アレックス・村上　E-mail:info@kartz.co.jp